

いなみ野ため池ミュージアム ため池コウノトリプロジェクト



～水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨をめざして～



I プロジェクトの概要

目的

コウノトリを「豊かな生態系」のシンボルとして

- ①地域が主体となった生息環境づくり
- ②人とコウノトリの共生をめざした地域づくりや地域活性化を総合的に推進



食物連鎖の頂点に立つ
コウノトリ

現状と課題と目指す東播磨の未来像

現 状

自 然

池の埋め立て
水質汚染
農薬の影響
外来種の侵入
乱獲や盗掘

課 題

生物の生息環境の改善
生態系の再生
水質改善
外来種駆除

地 域

農業従事者の減少
高齢化
後継者不足
都市化

めざすべき未来像

環境づくり 地域づくり を推進し
コウノトリが飛来し定着・子育てる
豊かなため池を次の世代につなごう！



II めざす姿と活動の目標

めざす姿

自然

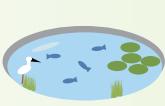


地 域



短 期

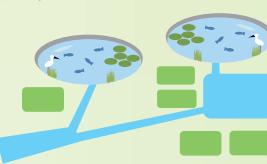
守る



個々のため池・水路・水田

中 期

つなげる



地域のため池・水路・水田

長 期

広げる



東播磨地域全体

増やす



ため池に関わる人

育てる



キーパーソン

定着する



キーパーソンを中心とした
地域主体の活動

III プロジェクトの実施計画

主な取組み内容

- 生物の現状を把握
- 多様な生物が住める環境
- コウノトリも住みやすい環境

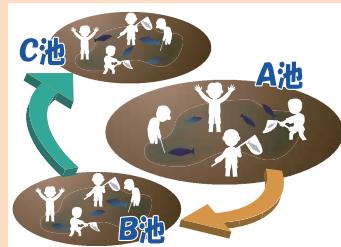
環境づくり

- 地域活動への参加
- ため池を知る・学ぶ学習の機会の提供
- 豊かなため池をめざす
- コウノトリの観察と情報共有

地域づくり

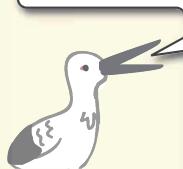
- ため池への訪問回数の増加
- ため池を通じたコミュニティの形成
- ため池の学習と情報共有
- 地域の農業を元気に

人とコウノトリの共生

	短 期	中 期	長 期
環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 現状把握 • 計画づくり • 生息環境づくり ★浅瀬の造成・整備等  <p>浅瀬の造成・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 水系調査 • 計画拡大 • 魚道整備 ◆かいぼりリレーの開催  <p>魚道の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 広域調査 • 広域計画 • 人工巣塔の設置 ☆水田ビオトープの設置  <p>水田ビオトープの設置</p>
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 情報発信 • 活動プランづくり • 関連団体を知る • コウノトリネットワークをつなげる  <p>イベントのチラシによる情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 知り合いを増やす • 専門家の支援を受ける • リーダー育成の勉強会を開催する • かいぼりリレーの調整・協力  <p>かいぼりリレーの協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自主的な活動として定着 • フォーラムでの発表等によるPR • 地域間交流会の開催 • コウノトリの観察・モニタリング  <p>ため池のフォーラムでの発表</p>
人とコウノトリの共生	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの開催（クリーンキャンペーン等） • 地域の昔話を聞く ◇ため池等を活用した環境学習 • 環境創造型農法を知る  <p>ため池等を活用した環境学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> • イベントの拡大 • 地域の特徴を知る • 環境創造型農業を実施 ●地域主体の生物保全活動  <p>地域主体の生物保全活動（アザナの保全）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ツーリズムへの展開 • 持続可能なため池管理を実践 • 地域の自主的な活動 ・農産物のブランド化  <p>農産物のブランド化</p>

IV プロジェクトの実施期間と数値目標

プロジェクトの実施期間を概ね 2017 年から 10 年とし、数値目標と目標達成年度を設定しました。



実施項目	目標	目標達成年度
★ため池の浅瀬造成	5ヶ所以上	2021年
☆水田ビオトープの設置	3ヶ所以上	2019年
◆かいぼりリレーの開催	2地区以上	2019年
◇ため池等を活用した環境学習	年間50回以上	2021年
●地域主体の生物保全活動	10団体以上	2026年

水辺空間の持つ多様な価値と可能性を見つめ直し、ため池等を地域の財産として「守り」、「活かし」次世代へ引き継いでいきましょう！

